

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 5 月 1 日

事業所名 児童サポートチーム あおぞらの木

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			・活動内容を工夫している。	・指定基準に基づいたスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	5	1		・人員配置に基づき配置している	・利用人数を把握し、職員配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	1	・危険箇所への点検、対応をしている。	・バリアフリー化はされていないが、環境を整えている。 ・外の階段が少し急になっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			・日々の振り返りを大切にしている。	・計画に沿って記録、評価、改善を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			・アンケートを配布し意向を把握し、改善に繋げている。	・保護者向け評価表にする評価と公表を実施し、意向を把握し改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			・公開した後、保護者に声かけしています。	・ホームページにて評価を公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4		・検討をしている。	・相談員等外部からのお話を聞いて改善に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			・外部講師やズーム等研修を行っている。	・外部研修や事業所内研修を行い支援の質を高めるように努めている。
適	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			・課題、ニーズを確認し計画書の作成を行っている。	・保護者面談を行い子どもの状況、保護者のニーズを把握するように努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			・アセスメントシートを活用して情報を共有し	・アセスメントツールの確認を周知徹底する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			・立案を通して1人ひとりの意見を検討する。	・ある程度の活動を立案して、内容を話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			・「静、動」色々な活動をバランスよく取り入れる。	・室内・外でのプログラムや、戸外活動等色々な活動を計画している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			・児童の意見も取り入れていません。	・それぞれに適したプログラム、イベントを実施。

切 な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			・児童の特性に応じ活動内容を工夫して作成している。	・一人ひとりの発達に応じ、個別の課題と集団適応、社会性の課題を支援計画に入れていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			・支援開始前にスケジュールを確認している。	・毎回ミーティングを行い確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1		・翌朝振り返りを行い情報を共有する。	・翌日に行っています。 ・急を要する場合は当日に行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			・日々の支援記録、日誌を付け取り組んでいる。	・毎回支援記録残しています。問題、課題があればその都度話し合っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			・定期的にモニタリング、改善、見直しを行っている。	・状況に合わせて行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6			・基本活動を組み合わせている。	・ガイドライン総則を周知し、基本活動を組み合わせ支援しています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			・会議内容を全職員で共有している。	・児童発達支援責任者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6			・学校、保護者より情報を頂き急な変更対応している。	・保護者より年間計画や行事予定のコピーを頂き把握する。 ・急な連絡も対応できるように努める。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					・該当児童の在籍なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			・会議を行い、書面にて情報提供しています。	・支援会議を行い、情報共有相互理解に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2		・支援記録等で、児童の記録を残しています。	・現在は該当児童はいないが、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所への移行時は提供をします。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		・研修内容をまとめ、活動に活かしています。	・言語聴覚士や外部講師を入れて助言や研修を行っている。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	2	・公園等での交流する機会はある。	・放デイだけではなく、今後計画をしていく。	

	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している			6	・職員会議で検討します。	・今後、参加できるところから取り組んでいきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・連絡帳の記入や送迎時の申し送りにて話をする機会を設けています。	・日々の送迎の際に児童の状況や課題について話をする機会を設けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	1	・取り組めそうなプログラムから支援を行っています。	・一貫したプログラムを検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・契約時に情報共有している。	・契約時に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			・日頃から相談しやすいように情報交換している。	・直接助言を行ったり、定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	4	・少人数での情報交換等の交流を行っています。	・今年は出来ていない。来年度は計画を検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			・送迎時に話をしたり連絡帳で連絡をとっている。必要に応じて電話や面談を行っている。	・相談窓口や苦情ボックスの周知徹底。 ・苦情や相談があった場合には即対応をする。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			・活動の様子、行事予定を発信している。	・あおぞら便りやSNS等で発信している。
	35	個人情報に十分注意している	6			・使用後は保管庫に戻しています。	・鍵付きの保管庫に保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			・特性に配慮し、伝達の工夫をしている。	・日々の様子を連絡帳やオープンチャットを通して発信している。 ・送迎時に申し送り等にて保護者との連携。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1		・次年度も計画中です。	・ハローウィン等訪問して交流している。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			・保護者へも周知をしていく。	・マニュアルは作成しているが、保護者への周知は十分でないため、改善に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			・地震(津波) 訓練実施しました。	・火災訓練、地震(津波) 訓練実施。年2回訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・外部研修、社内研修を行っている。	・研修内容を周知し、日々の支援に努めている。

同等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		・担当職員を決め、その他の職員は客観的に見て全体で検討・評価を行う。	・保護者に十分に説明を行い、共通理解した上で同意書にサインを得ています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		・食事の時は、提供前職員複数で確認しています。	・保護者に聞き取りを行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		・記録を残し職員間で共有している。	・報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有し事故防止に努めています。

